

シンポジウム

1SA

第1日目 5月20日(金) 9:00~11:30

A会場:2階 玉樹C

New frontiers in research on disease-related proteins

organizers : Yuriko Yamagata (Kumamoto Univ)、Yoshihiro Yoneda (Osaka Univ)
chairpersons : Ichio Shimada (Tokyo Univ)、Yoshihiro Yoneda (Osaka Univ)

- 9:00 **1SA-1** Structure of the stress hormone receptor: β 1 adrenergic receptor
○ Gebhard F. X Schertler
MRC Laboratory of Molecular Biology, Cambridge CB2 0QH, UK
- 9:45 **1SA-2** Structure-Guided Molecular Targeting Approach for the Development of Therapeutics for AIDS
○ Hiroaki Mitsuya
Departments of Hematology and Infectious Diseases, Kumamoto University School of Medicine, Kumamoto 860-8556; Experimental Retrovirology Section, Center for Cancer Research, National Cancer Institute, Bethesda, MD 20892
- 10:20 **1SA-3** Structural basis and cancer-related mutations of the Nrf2-Keap1 system
○ Masayuki Yamamoto
Dept. of Med. Biochem., Tohoku Univ. Sch. Med.
- 10:55 **1SA-4** Involvement of semaphorins and their receptors in immune regulation
○ Atsushi Kumanogoh
iFREC, Osaka Univ

3SA

第3日目 5月22日(土) 12:45~15:15

A会場:2階 玉樹C

タンパク質のダイナミクス計測のためのイメージング技術

特定研究領域「膜超分子モーターの革新的ナノサイエンス」共催

オーガナイザー/座長:野地 博行(大阪大)、原田 慶恵(京都大)

- 12:45 **3SA-1** 高速 AFM による生体分子のナノダイナミクス計測
○内橋 貴之^{1,2)}、安藤 敏夫^{1,2)}
1)金大・理工・数物、2)JST-CREST
- 13:15 **3SA-2** 触媒サブユニットの構造変化から探る F₁-ATPase の回転駆動メカニズム
○政池 知子¹⁾、小山 史恵¹⁾、龍口 文子¹⁾、大岩 和弘²⁾、吉田 賢右³⁾、西坂 崇之¹⁾
1)学習院大学・理・物理、2)情報通信研究機構 神戸研究所 未来 ICT 研究センター、
3)東工大・資源研
- 13:45 **3SA-3** F₁-ATPase における構造揺らぎの役割
○野地 博行
阪大
- 14:15 **3SA-4** 同時計測顕微鏡による DNA -ヘリカーゼ相互作用の1分子観察
○原田 慶恵¹⁾、横田 浩章^{1,2)}
1)京大・iCeMS、2)さきがけ、科学技術振興機構
- 14:45 **3SA-5** 生理機能・動態を計測するための蛍光タンパク質技術
○永井 健治
北大・電子研

若手奨励賞シンポジウム

2SA

第2日目 5月21日(金) 8:30~11:10

A会場:2階 玉樹C

若手奨励賞シンポジウム1,2

座長:養王田 正文(東京農工大)、栗栖 源嗣(阪大)

- 8:30 **2SA-1** ホロ酵素型触媒抗体の分子設計
(3P-131) ○石川 文洋、円谷 健、藤井 郁雄
阪府大院・理・生物
- 8:45 **2SA-2** in-cell NMR 法によるヒト細胞内におけるタンパク質の構造・動的解析
(3P-039) ○猪股 晃介^{1,2}、大野 綾子¹、朽尾 豪人^{1,2}、磯貝 信¹、天野 剛志^{2,4}、中瀬 生彦⁵、
武内 敏秀⁵、二木 史朗^{3,5}、伊藤 隆^{2,6}、廣明 秀一^{2,4}、白川 昌宏^{1,2,7}
1)京大・工、2)CREST/JST、3)SORST/JST、4)神大・医、5)京大・化研、6)首都大・理工、
7)理研・横浜
- 9:00 **2SA-3** ヒトのタンパク質間相互作用ネットワークにおいてディスオーダー間の相互作用は
(3P-070) 頻繁に起きている
○清水 佳奈¹、福井 一彦¹、藤 博幸²
1)産総研、CBRC、2)九大・生防研
- 9:15 **2SA-4** COPII 小胞形成タンパクによる輸送基質の濃縮と輸送されない蛋白質の排除機構
(3P-091) ○田端 和仁¹、佐藤 健²、井出 徹³、西坂 崇之⁴、中野 明彦⁵、野地 博行¹
1)阪大・産研、2)東大・総合文化、3)阪大・生命機能、4)学習院・理・物理、5)理研・生体膜
- 9:30 **2SA-5** 超音波効果を利用した低分子量・単分散アミロイド線維作製法の確立
(3P-118) ○茶谷 絵理^{1,2}、李 映昊¹、八木 寿梓¹、内木 宏延³、後藤 祐児¹
1)阪大・蛋白研、2)立命大・薬、3)福井大・医
- 9:45 **蛋白質科学会アーカイブの紹介:**
www.pssj.jp/archives/ 蛋白質科学会アーカイブ編集委員会(前準備委員会)
- 9:55 **2SA-6** 細菌型 Sec トランスロコンの構造から明らかとなったタンパク質膜透過装置の構造変化
(3P-045) ○塚崎 智也¹、森 博幸²、深井 周也³、石谷 隆一郎¹、森 貴治⁴、堂前 直⁴、
Perederina Anna⁵、杉田 有治⁴、Vassilyev Dmitry G.⁵、伊藤 維昭²、濡木 理¹
1)東大・医科研、2)京大・ウイルス研、3)東大・放射光、4)理研・基幹研究所、
5)アラバマ大・生化学分子遺伝
- 10:10 **2SA-7** クロマチンリモデリング因子 FACT 天然変性領域のリン酸化によるヌクレオソーム
(3P-088) DNA 結合阻害の分子機構
○津中 康央^{1,2}、榎 純子¹、山口 寛人¹、楯 真一³、広瀬 進⁴、森川 耿右^{1,5}
1)阪大・蛋白研、2)日本学術振興会、3)広島大・院理・数理分子、
4)国立遺伝研・個体遺伝研究系、5)CREST, JST
- 10:25 **2SA-8** HIV の複製を阻害するタンパク質 APOBEC3G の構造、相互作用及び酵素反応の
(3P-040) リアルタイムモニタリング
○古川 亜矢子¹、永田 崇¹、羽生 勇一郎²、杉山 隆一²、林 文晶³、横山 茂之³、
高久 洋²、片平 正人^{1,4}
1)横浜市大・院・国際総合科学、2)千葉工大・工・生命環境、3)理研・SSBC、4)科技機構・さきがけ
- 10:40 **2SA-9** β -シート形成における主鎖水素結合の役割
(3P-116) ○真壁 幸樹¹、小出 昌平²、桑島 邦博¹
1)自然科学研究機構・岡崎統合バイオサイエンスセンター、2)シカゴ大学生化学分子生物学科
- 10:55 **2SA-10** TNFR1 選択的阻害剤の開発を目指した TNFR1 選択的変異体の創製と
(3P-137) そのレセプター結合における構造-活性相関研究
○向 洋平^{1,2}、柴田 寛子²、中村 照也³、吉岡 靖雄^{2,4}、阿部 康弘²、野村 鉄也^{1,2}、
谷合 まどか⁵、太田 恒孝⁵、池水 信二³、鎌田 春彦²、角田 慎一²、中川 晋作¹、
山縣 ゆり子³、堤 康央^{1,2}
1)阪大・薬、2)基盤研、3)熊本大・薬、4)阪大・MEIセ、5)林原生物化学研究所

若手奨励賞
シンポジウム